

〔基本方針 3〕

広く情報を発信し、市民とともに成長する図書館（成長する） 積極的に情報を発信するとともに、市民との協働による事業を展開していく -

市民の学習や活動がより盛んになるよう、また、図書館の提供するサービスの質がより高くなるよう、市民とともに「成長する」図書館の実現を目指します。

そのために、「市民の生活や活動に役立つ図書館」「本・人・文化を結ぶ図書館」の機能や魅力を広く積極的に情報発信していくほか、市民参加や外部団体との連携を広げ、また、効率的・効果的な運営を図っていきます。

〔施策の方向性 1〕

(1) 積極的な情報発信

これまで1次ビジョンに基づき、他の図書館にある図書を最寄りの図書館に取り寄せる、また、インターネットで予約する仕組みを構築するなどして、利便性を高め、利用も増加してきた
アンケート調査によると、そうしたサービスについて知らない市民が半数もいる。
市民の財産である図書をより多くの方々に利用していただけるよう、これまで以上に積極的に広報活動を行うなど、情報発信をしていく。

ホームページや広報印刷物の充実
図書館のサービス内容や魅力についてよく理解していただけるよう、ホームページをはじめ、「図書館利用案内」や「図書館だより」などの広報印刷物の内容を充実を図る。
目的の図書や資料を容易に探し出せるよう、調べ物によく利用される図書や資料をまとめたパスファインダーや図書を選ぶ際の参考となるブックリストなどをホームページ上で多数掲載するなど工夫をしていく。
外国人向けの利用案内についても内容の工夫を検討していく。

普及事業の充実
図書館を利用されたことがない方にも図書館に関心を持っていただけるよう、文化人や専門家などによる講演会や、社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する展示など、普及事業に積極的に取り組んでいく。
その内容や時期などをより一層工夫して、普及事業の充実を図る。

〔施策の方向性 2〕

(2) 市民との協働

図書館は、新しい時代にも対応できるよう、社会環境や市民ニーズの変化も把握しながら、サービスの質的向上に努めていく必要がある。そのため、市民はもとより、有識者や関係団体等の意見や評価を、適時把握していく。
図書館のサービスを充実させていくうえで、より大きな効果が得られるよう、それぞれの分野の専門的な情報やノウハウを持つ関係機関やボランティア団体との連携を拡大していく。
また、近年、市民の社会参加への意欲が高まっている中、ボランティア活動の場の拡大を進めていく。

1 意見・評価の把握

満足度や評価についての調査の継続
図書館のあり方やサービスの改善に向けて、市民の満足度調査のほか、有識者や関係団体を交えた図書館協議会や懇談会を継続的に実施していく。
図書館の利用者から寄せられる意見や要望の分析を行うことにより、サービスの向上を図っていく。

2 ボランティア団体等との連携(重点項目)

関係機関やボランティア団体との連携拡大
これまで、専門的な知識やノウハウを持つ機関や団体と協働して、講演会や展示などを行ってきた。
今後も、新たな文化との出会いの場の充実に向け、幅広い分野のテーマについて行うことができるよう、連携する関係機関やボランティア団体の拡大を図っていく。

ボランティアの活躍の場の提供
これまで、本の読み聞かせや各種イベントなどで、ボランティア団体と連携した取組を行ってきた。
今後は、書架整理や、高齢者や障がいのある方の図書館利用をサポートするための館内の利用案内、講演会や展示をはじめとした普及事業の企画・運営などにおいて、ボランティアの活躍の場を提供していく。

〔施策の方向性 3〕

(3) 効率的・効果的な図書館運営

社会情勢や市民ニーズに対応して、図書館の量的、質的なサービスを充実させるために、施設・設備の改修を計画的に進めていくとともに、より効率的・効果的な運営方法や体制の検討を進めていく。
その際には、業務委託等、民間事業者が持つ能力・技術・人材等を活用することも視野に入れる。
経常的な経費の節減を不断に進めるとともに、市民からの寄付環境の醸成も含めた歳入の増加に努め、将来に渡って持続可能な図書館運営を図る。

1 図書館施設・設備の充実

都心にふさわしい図書館の検討
多様化する情報化社会に向けて図書館全体の機能やサービスを発揮できるよう、都心にふさわしい図書館については、その情報拠点の一つとして、高度なレファレンスサービス、紙媒体と電子媒体のバランスなど、その機能や内容の検討を進めていく。
その際は、都心という場所であることから、他の施設との複合化が前提になると考えられ、複合する施設の機能や都心の特色を踏まえて検討していく。

施設・設備の改修及び書庫の増設

高齢者や障がいのある方が快適かつ安全に利用できるよう、また、今後のサービスの拡充に対応できるよう、施設・設備の改修を計画的に進めていく。
将来的な書庫のスペース不足の対応についても併せて検討を進めていく。

2 効率的・効果的な運営

民間活力導入の検討
各区民センター・地区センター図書室において、指定管理者制度による民間活力の導入を実施し、これまでサービスの維持向上を図ってきた。
中央図書館と地区図書館においても、物流システムについて、既に業務委託を行っている。
今後、本ビジョンに掲げるサービスの充実を図るうえで、民間活力導入の拡大について、その効果と弊害に十分配慮しながら、継続して導入の検討を行う。

図書、資料の充実に向けた寄付の促進

多様化、高度化していく市民からの資料要求に全て応えるためには、市立図書館の蔵書だけでは限界があるため、市民からの寄付の募集を行っており、今後もその促進を図る。

職員の研修体制の充実

図書館職員として高度な知識・技術の蓄積を目指して、研修体制の構築やマニュアルの整備を進める。
特にレファレンス機能の向上のため、実務に即した研修カリキュラムを策定するとともに、専門的テーマの特別研修も必要に応じ開催する。